

次期芸術監督予定者
ー オペラ部門 ー

飯 守 泰次郎
(い い も り た い じ ろ う)



芸術参与任期：平成24(2012)年9月1日～平成26(2014)年8月31日(2年間)
[芸術監督の任期(予定)：平成26(2014)年9月1日～平成30(2018)年8月31日(4年間)]

(プロフィール)

1940年生。62年桐朋学園短期大学音楽科(指揮科)卒業。61年に藤原歌劇団公演「修道女アンジェリカ」にてデビュー。66年ミトロポーロス国際指揮者コンクール、69年カラヤン国際指揮者コンクールでともに第4位入賞。72年に芸術選奨新人賞とバルセロナのシーズン最高指揮者賞を受賞。72年から76年まで読売日本交響楽団指揮者、70年からバイロイト音楽祭の音楽助手として数々の歴史的公演に加わり、ブレーメン、マンハイム、ハンブルク、レーゲンスブルクの各歌劇場に指揮者として籍をおいた。エンスヘデ市立歌劇団第一指揮者を経て、79年から95年までエンスヘデ市立音楽院オーケストラ指揮者。93年より98年まで名古屋フィルハーモニー交響楽団常任指揮者。97年より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、本年4月より同団桂冠名誉指揮者。2001年から10年まで関西フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、11年から同団桂冠名誉指揮者。第32回(2000年度)サントリー音楽賞、第54回(2003年度)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2004年紫綬褒章、2008年第43回大阪市市民表彰、2010年旭日小綬章を受章。新国立劇場では2000年「青ひげ公の城」、2008年地域招聘公演「ナクソス島のアリアドネ」、2012年オペラ研修所公演「フィレンツェの悲劇」「スペインの時」を指揮。